

さいたま市立病院 治験審査委員会 会議の記録の概要

<p>開催日時 開催場所</p>	<p>平成 28 年 6 月 8 日(水) 16 : 00 ~ 16: 50 さいたま市立病院 東棟 3 階 講義室</p>
<p>出席委員名</p>	<p>出席者：堀之内 宏久 (※途中参加)、増田 毅、佐藤 清二、小川 裕美子、石井 素子、永堀 尊子、白石 智子、志村 忠信、大沢 教男、関本 隆史、朝日 洋子</p>
<p>議題及び審議結果を含む議論の概要</p>	<p>【審議事項】</p> <p>議題① アストラゼネカ株式会社の依頼による NSCLC 患者に対する一次治療における MEDI4736 と tremelimumab の併用第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題② バイエル薬品株式会社による An international, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled phase 3 trial investigating the efficacy and safety of rivaroxaban to reduce the risk of major thrombotic vascular events in patients with symptomatic peripheral artery disease undergoing lower extremity revascularization procedures</p> <p>下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験 (VOYAGER PAD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題③ アステラス製薬株式会社の依頼による感染性腸炎を対象とする OPT-80 の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書等の変更について、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題④ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による塞栓源不明の脳塞栓症を発症した患者を対象に、経口直接トロンビン阻害剤であるダビガトランエテキシラート (110mg 又は 150mg, 経口 1 日 2 回) の脳卒中の再発予防における有効性及び安全性をアセチルサリチル酸 (100mg 経口 1 日 1 回) と比較するランダム化、二重盲検試験 (RE-SPECT ESUS)</p>

・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑤ ファイザー株式会社の依頼による成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第3相試験

・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・被験者の募集手順（広告等）に関する資料等の追加に関して、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑥ ファイザー株式会社の依頼による日本人成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第3相試験

・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・被験者の募集手順（広告等）に関する資料等の追加に関して、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑦ ファイザー株式会社の依頼による膝関節または股関節の変形性関節症患者を対象とした Tanezumab の長期安全性および鎮痛効果を皮下投与により評価する第3相多施設共同無作為化二重盲検実薬対照試験

・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・被験者の募集手順（広告等）に関する資料の追加に関して、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑧ ファイザー株式会社の依頼による膝関節、股関節または肩関節の関節全置換術を実施した tanezumab 試験の被験者を対象とした第3相多施設共同長期観察試験

・当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

	<p>【報告事項】 以下について報告された</p> <p>議題① バイエル薬品株式会社による An international, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled phase 3 trial investigating the efficacy and safety of rivaroxaban to reduce the risk of major thrombotic vascular events in patients with symptomatic peripheral artery disease undergoing lower extremity revascularization procedures 下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験（VOYAGER PAD）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回審査にて修正の上承認となったが、修正報告書が提出され、実施医療機関の長が確認を行った旨報告した。同意文書等の修正報告書に関して報告した。 <p>議題② アステラス製薬株式会社の依頼による感染性腸炎を対象とする OPT-80 の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前に審査された治験薬概要書の日本語版の改訂に関して報告した。
特記事項	<p>【審議事項】</p> <p>議題① 1 施設からの審議依頼による。 議題② 1 施設からの審議依頼による。 議題③ 1 施設からの審議依頼による。 議題④ 1 施設からの審議依頼による。 議題⑤ 1 施設からの審議依頼による。 議題⑥ 1 施設からの審議依頼による。 議題⑦ 1 施設からの審議依頼による。 議題⑧ 1 施設からの審議依頼による。</p> <p>【報告事項】</p> <p>議題① 1 施設からの報告依頼による。 議題② 1 施設からの報告依頼による。</p>